

芸術の方法と方法の芸術

パワポ概説

中ザワヒデキ

「芸術の方法と方法の芸術」

- 論文である。
- 中ザワヒデキ(美術家)著、2008年。
- 約18,500字。
- 岩波講座 哲学 第7巻 芸術／創造性の哲学 pp. 155－178 所収

「パワポ概説」

- 「芸術の方法と方法の芸術」の骨子を解題。
- もともと図式的に書いた文章だった。

(この「パワポ概説」は2011年制作。)

ということで、
始めます。

構成

- 序
- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性
- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請
- 結

構成

- 序

- 結

構成

- 序

芸術の方法

- 目的は芸術。謎はない。今日意味×。

方法の芸術

- 目的は方法自体。不穩。今日意味○。

- 結

構成

- 序

芸術の方法

・・・目的は芸術。謎はない。今日意味×。

方法の芸術

・・・目的は方法自体。不穩。今日意味○。

- 結

芸術は、客観保証されない。

方法は、われわれ自身の真理である。

構成

- 序
- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性
- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請
- 結

構成

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性
- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請

論文の本体

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性
- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請

論文の本体

照合

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性
- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請

共通の
図式

共通の図式、
それは・・・

芸術制作における一連の流れ

規範 → 方法 → 作品

- この図式と照合したい。

芸術制作における一連の流れ

規範 → 方法 → 作品

- 西欧中世ではこの一連はスムーズ。
- 規範＝神権。芸術＝神を讃える技術。

こうはいかない
ケースがある。

規範 → 方法 → 作品

途中がダメ

出発点がダメ

規範 → 方法 → 作品

途中でダメ

3 左の矢印○、右の矢印×

4 左の矢印×、右の矢印○

出発点がダメ

1 出発点を自作する。

2 出発点を自作しない。

規範 → 方法 → 作品

途中がダメ

3 左の矢印○、右の矢印×

4 左の矢印×、右の矢印○

外的な規範の欠如

- 1 出発点を自作する。
- 2 出発点を自作しない。

規範 → 方法 → 作品

途中がダメ

3 左の矢印○、右の矢印×

4 左の矢印×、右の矢印○

外的な規範の欠如

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 出発点を自作しない。

規範 → 方法 → 作品

途中がダメ

3 左の矢印○、右の矢印×

4 左の矢印×、右の矢印○

外的な規範の欠如

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性

規範 → 方法 → 作品

方法の突出

3 左の矢印○、右の矢印×

4 左の矢印×、右の矢印○

外的な規範の欠如

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性

規範 → 方法 → 作品

方法の突出

3 方法の芸術と発明

4 左の矢印×、右の矢印○

外的な規範の欠如

1 芸術の方法と自律性

2 芸術の方法と多様性

規範 → 方法 → 作品

方法の突出

- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請

外的な規範の欠如

- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性

各論

1 芸術の方法と自律性

規範 → 方法 → 作品

- 規範を自らのうちに求める
- 芸術のための芸術 モダニズム

1 芸術の方法と自律性

規範 → 方法 → 作品

- 規範を自らのうちに求める
- 芸術のための芸術 モダニズム

例1 スーラの新印象主義

例2 シェーンベルクの音列主義

例3 グリーンバーグのフォーマリズム





点描画法 = 芸術の方法
作品 ≠ 方法の芸術

2 芸術の方法と多様性

規範 → 方法 → 作品

- 規範を自らのうちに求めない
- 人生のための芸術 ポストモダニズム

2 芸術の方法と多様性

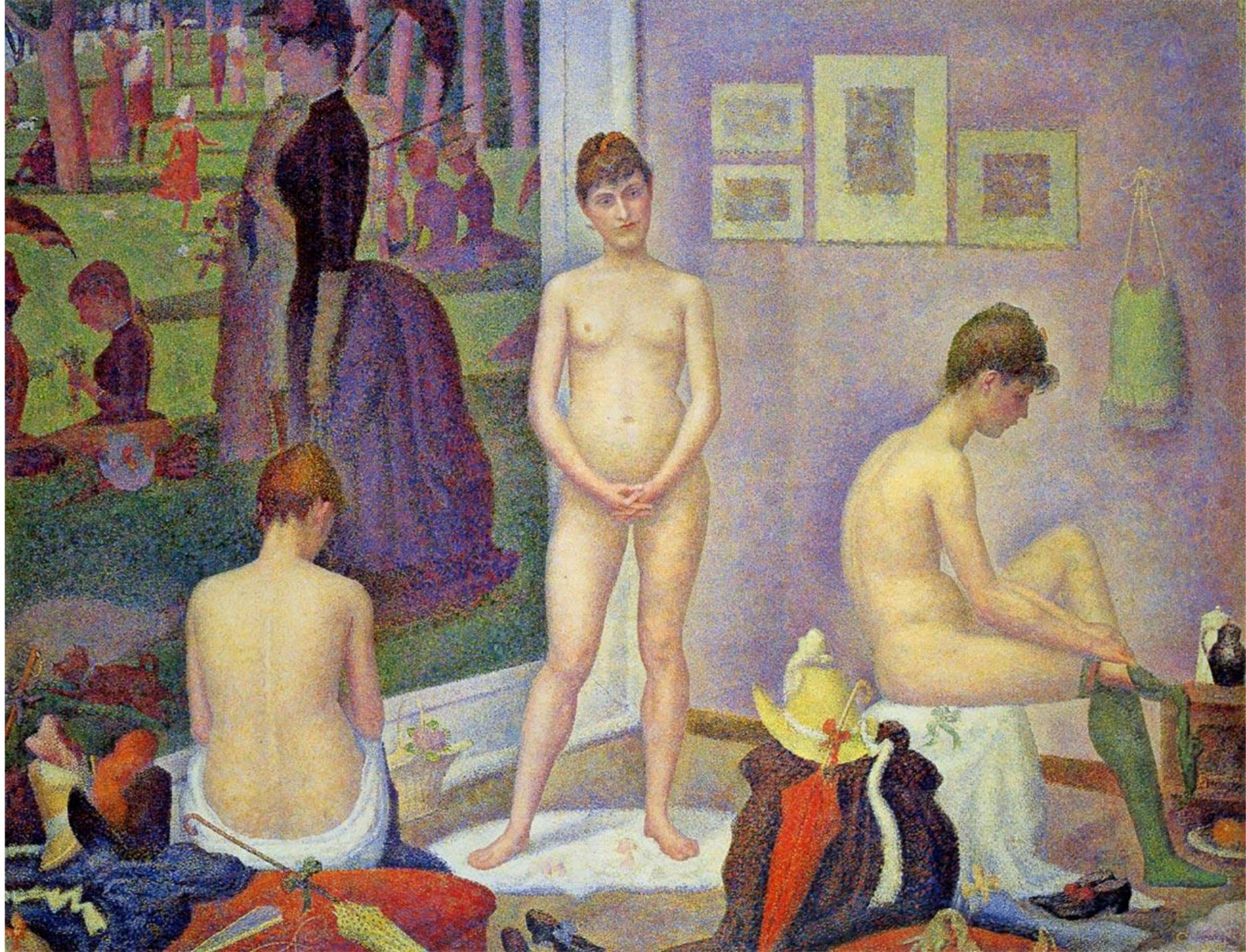
規範 → 方法 → 作品

- 規範を自らのうちに求めない
- 人生のための芸術 ポストモダニズム

類型1 規範回避 ... シュルレアリスム etc

類型2 恣意的な規範 ... 商業美術 etc

類型3 単なる無規範 ... 快樂芸術 etc





作品＝方法の芸術
点描画法＝方法のための方法

3 方法の芸術と発明

規範 → 方法 / 作品

- 方法のための方法
- 規範からの演繹によって、方法を発明する

3 方法の芸術と発明

規範 → 方法 / 作品

- 方法のための方法
- 規範からの演繹によって、方法を発明する

例1 篠原資明の方法詩(前段)

例2 ダ・ヴィンチの芸術活動

例3 中ザワの芸術特許

4 方法の芸術と要請

規範 / 方法 → 作品

- 方法のための方法
- 方法を要請とみなし、作品を制作する

4 方法の芸術と要請

規範 / 方法 → 作品

- 方法のための方法
- 方法を要請とみなし、作品を制作する

例1 篠原資明の方法詩(後段)

例2 デュシャンのレディ・メイド

例3 中ザワの方法主義

各論
終わり

構成

- 序
- 1 芸術の方法と自律性
- 2 芸術の方法と多様性
- 3 方法の芸術と発明
- 4 方法の芸術と要請
- 結

構成

- 序

芸術の方法

・・・目的は芸術。謎はない。今日意味×。

方法の芸術

・・・目的は方法自体。不穩。今日意味○。

- 結

芸術は、客観保証されない。

方法は、われわれ自身の真理である。

終わり